

## ～赤ちゃん人形（タータン人形）寄贈～ 地区補助金「受付番号DSG13（09-10） 市内の老人福祉施設に供する赤ん坊人形の寄贈」

ガバナー補佐

### 青木 禎一郎

(大阪フレンドRC)

去る3月3日、今年度IM第7組11RCは、大阪なにわRCの提案により昨年度に引き続き、共同社会奉仕事プロジェクトを、大阪市浪速区の特別養護老人ホーム『アシステンツァ桜川』『なにわ』中央区の『さくら』、西区の介護老人保健施設『健勝園 九条』に各3体のタータン人形(注1)の寄贈が行われました。滋賀県立大学 人間看護学部 畑野相子准教授、まほまほドールセラピー研究会 代表 御船泰秀様、大阪なにわRC 吉川会長はじめ(6名)、大阪難波RC(樫畑会長・白野幹事)、大阪本町RC(野中幹事)、大阪うつぼRC(村上会長)、青木ガバナー補佐の計13名。そして報道関係より、毎日新聞社 稲生記者、産経新聞社 服部記者にご同行を頂きました。

各4施設で、タータン人形を代表で3名の入居者の方に贈呈し、中には涙を流す方、子守唄を唄いながらあやしている方、「私は今年で100歳です。孫がないから、この子は私の孫」といって人形を抱きしめて離さない方もおられました。

この取り組みは、認知症高齢者の方に対する症状悪化防止に非常に役立つと、各施設の方々に喜ばれました。今年度、大阪なにわRCの岡本幹事をはじめ、大阪なにわRCの皆様には大変お世話になり、本当に有難う御座いました。

来年度も是非、IM第7組の共同奉仕活動を継続していきたいと思えます。

(注1)タータン人形とは、ドールセラピー(人形療法)に用いられる赤ちゃん人形。

